

## 宇都宮市立桜小学校 第4学年 児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

#### 【学習に関する項目について】

○「家で、学校の宿題をしている」が92.2%、「家で勉強するときに、だいたい同じ時こくに取り組むようにしている」の肯定的回答割合が60.8%で市や県の平均を上回っている。また、「早ね、早起きを心がけている」の肯定的回答割合が60.8%、「毎日、同じくらいの時こくにねている」も58.8%で市や県の平均を上回っていることから、家庭で規則正しい生活をしている様子が伺える。

○「授業の中で、目標(めあて・ねらい)がしめされている」の肯定的割合が94.1%で市や県の平均を大きく上回っていることから、児童は学習のめあてを意識して取り組んでいることが分かる。「授業の最後に、学習したことをふりかえる活動をよく行っている」では、肯定的回答割合が、市や県の平均を上回っているものの、振り返る時間の確保や振り返り仕方を工夫していく必要がある。

○「1か月に、何冊ぐらい本を読みますか。」は11冊以上が49%で市や県の平均を20ポイント以上上回っている。読書時間のアンケートでも市や県の平均時間を上回る回答の児童が多い。時間を見つけて本に親しんでいることが伺える。

●「家で、学校の予習をしている」、「家で、学校の授業の復習をしている」、「家で、学校やじゆくの決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」の回答では、市や県の平均を下回っている。宿題をきちんとやる児童が多いので、予習、復習と関連付けて提示したり、発展的学習への取組を紹介したりして、児童の家庭学習を充実させていきたい。

●「クラスは発言しやすいふん囲気である」、「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」については、「はい」と回答する割合が市や県の平均を大きく上回っているのに対して、「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」は、「どちらかといえば、いいえ」が29.4%が一番高い割合を占めた。「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことはむずかしい」でははいと回答した割合が47.1%で市や県を上回っている。「必要感をもって、自分の考えを表現したくなるような課題」を提示したり、「自分の考えをまとめ書き表す書き方マニュアル」を示したり、「少人数で発表し合うスモールステップの機会」を多く設定したりして、一人一人が自信をもって意見を発表できるようにしていきたい。

#### 【自分自身のことに関する項目について】

○「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている」、「地いきや社会で起こっている問題やできごとに関心がある」の肯定的回答割合は88.2%と80.4%で市や県を上回っている。社会の出来事的话题を授業の話題に取り入れ、一つの出来事を多角的・多面的に捉えたり、学んだことが生活の中で生かされていることを実感できたりすることができるよう、各教科の学習の中で適宜適切に扱っていきたい。

●「ふだん、1日当たりどれくらいの時間、テレビやDVD、動画などを見たり、聞いたりしますか」、「ふだん、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、けい帯式のゲーム、けい帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか」で市や県では「1時間以上、2時間より少ない」が一番多いのに対して、「3時間以上、4時間より少ない」「4時間以上」の割合が多い。動画やゲームの時間についてルールを明確にして、約束を守って楽しめるよう、家庭との連携を図っていきたい。